

2019.Marinara的 ★ハイボール祭り★

そもそもハイボールとは？

実は、ハイボールとは広義の意味では“蒸留酒を割ったカクテル”のことを指し、必ずしもウイスキーで作る必要はないんです。
蒸留酒とは、ウイスキーをはじめ、焼酎、ジン、ラム、ウォッカなどのいわゆるスピリッツのこと。ただし日本では、ウイスキーメーカーの強力な営業努力があり、ハイボール＝ウイスキーハイボールというイメージが定着。

Marinaraでは、スピリッツのみならず、ワインを使ったハイボールもご用意！！
さぁ、夏バテ予防に、水分補給♪♪

お好きでしょ～♪

角ハイボール

¥400

ソーダじゃないので割る

ジンジャーハイボール

¥450

コークハイ

¥450

バーボンボンボン～バーボンボンボン～♪

ジムビームハイボール

¥450

ジムビーム on the Rocks

¥400

ドイツ語で「はじける」という意味・・・なんかかっこいいかも。

白ワインハイボール(白スピリッツァー)

¥550

赤ワインハイボール(赤スピリッツァー)

¥550

ほぼゼロキロカロリー論ハイボール

ジンハイボール(ジンリッキー)

¥480

ウォッカハイボール(ウォッカリッキー)

¥480

呼び名は知ってるけど実はこれが由来

焼酎ハイボール(チューハイ)

¥380

芋焼酎ハイボール(芋チューハイ)

¥480

ハイボールの語源とは？ 諸説あり

開拓時代のアメリカにおいて、蒸気機関車による長距離移動のときに、途中で水の補給のための停車の際、棒の先にボールをつけたものを掲げて合図した。そのときに、バーボンのソーダ割りのサービスがあったことからという説。

同じくアメリカの鉄道で、ボール信号というのが一般的に使用されて、ボールがあがっていれば進行 (go)、あがっていないければ停止 (don't go) である。駅員が隣の駅のボール信号を望遠鏡で見ながらバーボンをちびちびやっているときにボールが上がったら(ボールがハイになったら)列車がくるというのでソーダ水を入れて一気に飲み干して駅に行ったというのが語源という説。

イギリスのゴルフ場のカウンターでウイスキーを飲んでいたら、急に自分の打つ順が来たことを知らされ、慌ててそばにあったチェイサーにウイスキーをあけ飲んだところ非常においしかった。そこに、たまたまハイ・ボールが飛んできたからという説。